

公園内で見られる植物

写真は9月8日（土）
自然観察会で見られた
植物です



コバノガマズミ (スイカズラ科)

果実／核果。長さ 5~9 ㎖の卵球形で、9~11 月に暗赤色に熟す。



ヘクソカズラ (アカネ科)

名前のわりにはなかなかかわいい花をつける。



サルスベリ (ミソハギ科)

花／花期は7～10月。百日近くにもわたって咲き続ける。
花は花序の基部から咲きはじめ、次々に咲き上がる



クサギ (クマツヅラ科)

花／7月下旬～9月、枝先や上部の葉腋から集散花序をだし、芳香のある花を多数つける。



ヤマジノホトトギス (ユリ科)

花は茎の先や葉腋に1~3個つき、上向きに咲く。花被片は紅紫色~暗紫色の斑点があり、上半部は平開するが、ヤマホトトギスのようにそり返ることはない。花期8~10月



センニンソウ (キンポウゲ科)

花はパッと開いた多数の雄しべがよく目立つ。花弁はなく、十字架に開いた4個の白い萼片が花弁のように見える。雄しべは数個あり、花柱は細長い。花のあと花柱は3本ほどにのび、白くて長い毛が生える。花期8~9月



ゲンノショウコウ (フウロソウ科)

下痢止めの民間薬として有名。東日本には白い花。西日本には紅紫色の花が多い。
花期 7～10 月



キツネのマゴ (キツネノマゴ科)

道ばたなどにふつうに見られる高さ 10～40 ㎝の 1 年草。花は淡紅紫色の唇形花で穂状に密集してつき、萼片や苞のふちには白い毛がある。花期 8～10 月



ヒヨドリバナ (キク科)

ヒヨドリの鳴くころ花が咲くことからこの名があるといわれる花頭は5個ほどの白色の両性の筒状花からなる。花期 8~10月



キンミズヒキ (バラ科)

細長い花序をタデ科のミズヒキにたとえたもの。花は、黄色で直径0.7~1㎝、萼筒がよく発達し、萼片は5個。花期 7~10月